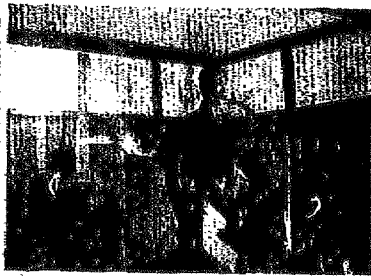


であったが、同一行は、同館の鳥飼賢一さん3丁目の創価王文化会館に交るため、施設確保して4年

境内に響く 安来節の声

智頭・西光寺

智頭町大内の西光寺



安来節を披露する道場の有志

(木村有泉住職)だ。で、お月見のイベントが開かれ、近所の人たちが集まってコーラスや芋煮会を楽しんだ。檀家の皆さんに喜んでもらえるイベントを、と初めて企画した。

この日はコーラスをはじめ、安来節保存会智頭道場(石橋美会長)の有志による歌が披露され、迫力ある声に皆が聞き入っていた。参加者の一人は「初めての会だったが、とても楽しい」と笑顔で話していた。

また、会場では地元の人材が作った芋煮が絶品。おいしい芋煮に舌鼓を打ちながら十五夜の月の下、秋の夜長を楽しんで

オカリナ 音色楽しむ

気高・瑞穂公民館

鳥取市気高町の瑞穂地区公民館(池田政慶館長)



オカリナに合わせて合唱する地区民

文化部長 催の「名月を愛でる会」が、同公民館に大勢の地区民が参加して開かれ、昔からの伝統行事を次世代へ伝えた。

月見の伝承行事について、池田館長が「歴史と人々のかかわり、収穫を祝う行事」と説明した後、町内で活動中の「つくしんぼ会」の会員が本の読み聞かせ。「ねずみくんのチョコッキ」などに、参加者は静かに聞き入っていた。

またオカリナ演奏もあり、市文化芸術推進協議会委員の大西保江さんが、独特の音色で「きらきら屋」などを演奏。その後、山田頼雄さん(青谷在住)の指導で「赤とんぼ」などを合唱し、「故郷」では大西さんも飛び入りで演奏し、会場が盛り上がった。

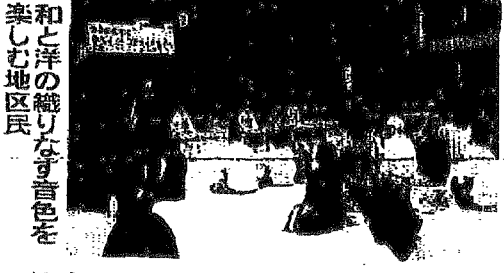
各地でお月見イベント

和洋折衷の 生演奏満喫

鳥取美保公民館

鳥取市吉成1丁目の美保小学校体育館で「中秋の名月とジョイントコンサート」の夕べが開かれ、地区の小さな子どもから高齢者まで大勢が生演奏を楽しんだ。

同コンサートは、美保地区公民館(安木陸夫館長)の特色ある公民館活動実行委員会(福本諭委員長)が中心になって企画。今年で7回目を迎える。大勢のボラ



和と洋の織りなす音色を
楽しむ地区民

ンティアが協力し、会場では温かい芋煮の無料配布やおはぎの販売も行われた。

2部構成のコンサート第1部には、南中学校

吹奏楽部(濱野まゆみ教諭引率)の生徒31人が登場。「決意の朝」など迫力のある管弦楽の演奏に、住民は大きな拍手を送っていた。

第2部では、美保地区子ども筆教室に通う児童らが、筆でまり会(佐々木恭子代表)の会員と一緒にわらべ歌などを演奏。また、地元在住サクソ奏者の北尾厚志さん

とのジョイントコンサートでは「八木節スケルツォ」などが演奏され、和と洋の織りなす調和の取れた音色に、惜しめない拍手が送られていた。(鳥取城南通信部・富山学部長)

詰め掛けた町民らが茶

もてなしを受ける
来場者



るの「などの質問が飛び交った。

お楽しみの団子づくりでは保育士から作り方の説明を聞いた後、園児は思い思いの形の団子をつくり、調理して、きな粉をまぶした。行福園児ちゃん(3)は「ママも食べた」と言っていた。お餅子は本音においしかった」と涙目の笑みを浮かべていた。



団子作りの実演を真剣に見つめる園児たち

園児ご機嫌 団子づくり

鳥取「ちびっこランド」やま園

鳥取市湖山町東2丁目の保育所「ちびっこランド」やま園で、中秋の名月の恒例行事「月見だんごの会」が開かれた。

保育士の月見に関する読み聞かせに、園児から「月でうさぎは何を食べてい

い。これからも子どもたちには季節を感じ取り、農作物の収穫に感謝する習慣を身に付けてほしい」と話していた。(湖山東通信部・平木英男部長)

福米東公民館に牛乳パックで作ったエコチエアを寄贈した。



手作りいすを 公民館に寄贈

米子のボラン

て登校。寄宿舎では、当番制でトイレや風呂掃除、炊事などをチームワークで取り組んだ

し、学年ごとに学習。JICAの渡辺由美さんを通じて、スリラン

ん友たちができた「家でできないこと」が体験できてよかった。「宿